

# 会派調査（研修）報告書

令和 7 年 11 月 28 日

胎内市議会議長  
八幡 元弘 様

(報告者) 会派名 公 明 党

代表者名 渡 辺 栄 六

会派調査(研修)について、下記のとおり報告します。

調査・研修 日 時	自 令和 7 年 11 月 11 日 至 令和 7 年 11 月 13 日 2 泊 3 日 (3 日間)	調査・研修 場 所	岡山県奈義町 徳島県鳴門市 兵庫県小野市
調査・研修 事 項	奈義町 少子化対策 鳴門市 道の駅「くるくるなると」 小野市 行政経営・方針管理		
調査・研修 出 席 者	渡辺栄六 (政和会) 天木義人 小野徳重 森本将司 坂上隆夫		
相 手 方 (対応者)	奈義町： 副町長 金田 知巳  鳴門市： 鳴門市議会 議長 藤田 茂男 企画総務部 課長 吉川 慎太郎 政策監 小泉 憲司  小野市： 小野市議会 議長 平田 真実 総合政策部長 藤本 寿希 総合政策部 企画政策リーダー 甲山 秀樹		

## 調査の結果または概要

- 【奈義町】 「奇跡のまち」と呼ばれるほど少子化対策に成功しており、特徴ある支援を町ぐるみで展開している。子育て応援宣言を 2012 年から実施し、高校生までの医療費の無料化や、給食費や教材費の無償化、チャイルドホームで一時預かりや地域交流、子育て支援を併設など総合的な少子化対策を実践しており、高い合計特殊出生率を維持していると評価されている。
- 【鳴門市】 道の駅「くるくるなると」の特徴的な取り組みとして、地元特産品（鳴門金時、れんこん、鯛など）を活かしたマルシェや飲食店舗を展開、屋上デッキやジップラインなどを設け、来訪者に遊びの要素を提供している。また、災害時には避難所としても機能する設備を備えた施設である。
- 【小野市】 自治体の経営戦略や行動指針の策定・運用に関する事例として、目標設定から実行計画までの流れや、市民ニーズを反映した戦略立案や効率化・市民サービス向上・職員の意欲向上を目指した施策とともに、実践可能なアイデアを検討し業務改善の成果を展開している。

## 調査の所見・感想

- 【奈義町】 「子育て応援宣言」を基軸に、経済負担を大幅に軽減する施策を体系的に実施している。また、チャイルドホームを中心とした地域ぐるみの子育て支援や、短時間就労を支援する「しごとコンビニ」など、親の社会参加を支える取組も特徴的である。これらの政策が相乗的に働き、合計特殊出生率の向上などの成果が見られ、子育て支援を包括的に行なう事の重要性を示しており、他自治体にとっても有益な参考となる。
- 【鳴門市】 道の駅「くるくるなると」において、現地調査をし、体験型コンテンツ、地域商社機能などによる地域活性化の取り組みを確認した。また、災害時には避難所として活用できる設備も整備されており、令和 5 年度実績での年間来場者は約 130 万人、年間売上は約 20 億円と賑わっており、平常時・非常時の両面で地域拠点として重要な役割を果たしていることを学んだ。
- 【小野市】 自治体の経営戦略や行動指針の策定・運用の実践事例を学び、市民サービス向上や組織運営の効率化に向けた新たな取り組みを確認した。今回の研修を通じ、戦略的な自治体経営の重要性を理解し、当自治体における今後の施策や改善への示唆を得ることができた。